

本日の例会（第2371回）
令和元年5月28日(火)
予 定 行 事



★皆出席表彰

田中 潤治 会員（33年）

★卓 話 テーマ「ロータリーちょっと話」

卓話者：勝亦 良彰 会員

略 歴：入会年月日：1992年1月14日

生年月日：1949年5月18日

職 業：富士セイラ(株) 大阪支社 代表取締役会長

職 業 分 類：機械部品販売

ロータリーでの活動歴

1995年度	第27代 幹事	1999年度	S A A
2000～'02年度	広報委員長 兼 副SAA	2002年度	会計兼 親睦副委員長
2003～'05年度	親睦副委員長	2005～'07年度	会報・広報委員長
2007年度	会員増強・選考副委員長	2008年度	国際奉仕委員長
2009年度	会長エレクト	2010年度	第42代 会長
2011～'13年度	米山奨学会委員長	2014～'16年度	国際奉仕委員長
2016～'19年度	規定情報委員長		

趣 味：旅行、ゴルフ

ワールドクルーズ船内見聞録

(前回のつづき)

ところで、リピーターの方たちのなかには今回の102日の乗船中に、乗船1000日を超える方が2人、500日を超える方が数人、400日に至っては沢山おられます。1000日といえば3年近くです。一番安い船底の部屋でも通常販売価格が夫婦で1泊約9万円、1000日で9000万円。一番高い部屋だと1泊約37万円、1000日で3億7000万円。これにツアーの代金やもろもろの費用を加えれば4億円仕事です。ある大手外食チェーンの創業者夫妻と有名飲料メーカーのオーナー一族の夫妻は旅の終わりに、来年の予約をして下船されました。単にお金と暇があるだけでそんなことをしている人は少ないでしょう。陸にいて親戚関係との会社の後継争いに疲れている方、また、夫や妻に先立たれ、家には子供たちに疎まれ、嫁にいじめられ陸地から逃げ出したい気持ちで乗り込んでいる方たちも多いのです。

どんなに陸での人間関係に疲れていても、この船に乗れば下にも置かぬ待遇で、まいにちまいにち歌や踊りの竜宮城。どこまでも果てしなく続く大海原の中を、巨大で真っ白な航跡を残しながら飛鳥はひたすらにまだ見ぬ異国の地を目指し進んでゆく。

(裏面につづく)



尾下 千明

次回例会のお知らせ [第2372回・令和元年6月4日(火)]

★お誕生日のお祝い

★お食事はミニ会席料理です。

★卓話予定

★例会場 4F 真珠の間

・テーマ：「健康管理よもやま話」

・卓話者：小山 登 会員

★定例理事会②（新旧合同理事会）13：40～14：40 事務局（新旧理事会構成メンバー）

・来客紹介（5月14日） 3名
 （2660地区内 2名・地区外 1名・ゲスト 0名）

・出席報告

例会回数	第2367回	第2368回	第2369回	第2370回
例会日	4月9日	4月16日	4月23日	5月14日
会員総数	40名	40名	40名	40名
出席免除会員数	13名	13名	13名	13名
欠席会員数 (内、出席免除会員数)	15名 (6名)	15名 (7名)	17名 (6名)	10名 (6名)
出席率	69.44%	75.76%	67.65%	88.24%
修正出席率 (メーキャップ数)	85.29% (4名)	88.85% (3名)	_____	_____

・ラッキーくじ

賞品名 『デパート商品券』
 賞品提供者 岩元 孝樹 会員
 当選者 富島 俊治 会員
 井上 芳郎 会員
 参加者数 20名

・卓話

テーマ「創立50周年記念事業・式典について」
 卓話者：尾下 千明 会長

・その他

13：40 理事会（事務局にて）
 理事会終了後、創立50周年記念事業実行委員会

会員名 ニコニコ事由

尾下 千明 =ラッキーカード当選
 小嶋 敦 =ラッキーカード当選
 井上 芳郎 =ラッキーカード当選
 尾下 千明 =令和元年最初の例会です。
 藤井 進次 =5月第一例会にあたり。
 古市 仁 =10連休にロータリーも連休とコンディションがくるいますな。
 竹井三千彦 =娘が結婚致しました。まずは、ひと安心。
 富島 俊治 =だいぶ嬉しいことがありました。
 瀬田川昭俊 =皆様のお顔を見せて頂く機会が少なくて、すみません。
 近藤 治郎 =お久しぶりです。
 小山 登 =ムスカ一家が東京板橋に移住しています。
 十河 元生 =良い気候になりました。
 弓田 浩司 =れいせんクラブカップ、お世話になりました。
 柴崎 秀樹 =春のRYLAセミナーにフル参加してきました。花園ラグビー場や枚岡公園でのアウトドア研修を受講生以上に？楽しんでしまいました。
 岩元 孝樹 =大阪マラソン、エントリーしめきりまであと3日です。皆様ご興味ある方は、ぜひともヨロシクお願い致します。
 高士 誠司 =勝亦さん、高齢者講習にお越し頂きありがとうございました！
 増田 久弥 =SAAに声をかけられて。
 隅防 嘉之 =SAAに声をかけられて。
 三宅 有 =SAAに声をかけられて。
 妙中 茂樹 =SAAに声をかけられて。
 浦野 修明 =SAAに声をかけられて。
 西ノ内猛宏 =SAAに声をかけられて。
 最上 次郎 =SAAに声をかけられて。

本日計 36,000円 / 総合計 1,086,000円
 (目標 1,300,000円)
 ご協力ありがとうございました。

(表面のつづき)

陸でのあらゆる軋轢をすべて捨て去り、ただひたすらに大海原をひたすらに、どんなストレスからも解放されるのでしょうか。そのような方たちにとっては、この船の上だけは陸でのいろいろなしがらみから解き放たれる「最後の安息の場所」なのであります。

乗船1000日を超えた80歳の大金持ちのおじいさんは自称女優という40歳過ぎの女性を連れて二人で乗っています。船内での興味の的です。この女優というのが奇行の持ち主で、部屋や廊下で時々大声で奇声を発します。なんでも、せりふの発声練習だそうです。部屋の扉にガラクタを貼り付けたり、とにかく奇行のデパートです。いつも食事の時はぴったりとおじいさんのそばに座りお世話をします。この大金持ちのおじいさんも幸せそうにしています。陸地のしがらみから解放されて、お気に入りの40才も年下の女優を連れて、誰にも邪魔されない3か月半の甘い船旅です。

船旅も後半に入り、サンフランシスコに停泊したある夜のディナー。なぜかおじいさんのそばに女優の姿がありません。代わりに見知らぬ白髪のおばあさんが引きつった怖い顔をして、

おじいさんの向かいに座っています。ピーンと凍り付くような、張り詰めた空気があたり一帯を支配しています。ふたりはお互いに一言も発しません。おばあさんがおじいさんの顔をにらみつけ、お爺さんは蛇に睨まれた蛙のようにピクリとも動きません。なんと、日本から奥さんが乗り込んできたのです！あとは怖くて見られません。

最早この大金持ちのおじいさんにとってはこの船の上さえも「最後の安息の場所」ではなくなってしまったようです。アーメン！合掌！